

個性企業 ファイル

国内最大級のショッピングセンター、イオンレイクタウン(埼玉県越谷市)の一角にあるペット向けの新業態店。十月の開店とともに、マンマ・リゾ(福岡市、田尻雅之社長)のリゾット状ペットフードが目玉商品のひとつとして並んだ。同店を運営するイオン子会社のペットシティ(東京都中央区)が着眼したのは「横文字の栄養素が一切使われていない安心感」。十二月中旬までに同社のペット用品店、全百店に導入される。

従来商品との違いは工場を見れば分かる。かっぱうを着た従業員がレストラ

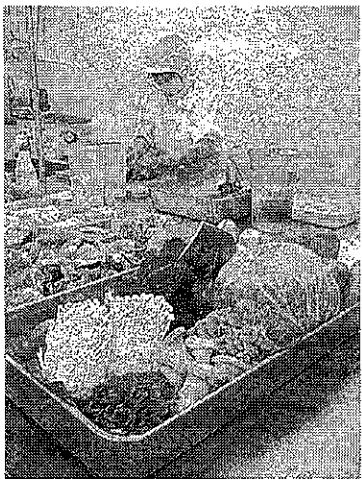
ンで使われるような新鮮な野菜、肉を刻む。学校給食と同じ大釜で煮込む。レトルトパックに詰めて高温殺菌する。塩味は薄いが人間が食べてもおかしくない。

☆ ☆ ☆

「作る過程をガラス張りにしたい」(田尻社長)と、工場の様子はリアルタイムでホームページで見られるようにした。材料は減農薬、非遺伝子組み換えのものなどを重視、添加物や保存料は一切使わない。コメは熊本、野菜は九州や北海道、ラム肉はニュージーランドなど、産地もすべて公開。そのため価格は成犬向けが三百〜三百三十円など、

マンマ・リゾ リゾット状のペットフード

人向けと同じ材料 公産地を開



高品質な野菜や肉を使う(福岡市のマンマ・リゾ本社)

大手メーカーの商品に比べれば割高だ。事業のきっかけは、田尻社長が飼った犬が病弱だったこと。ある獣医師の助言で手作りの食事に交えてみる。と劇的に健康になった。当時宅配弁当を営んでいた田尻社長は、農家にペットフード原料としての作物提供を依頼。当初は「もったいない」と反発もされたが、

会社概要	
本社	福岡市東区松島 5-22-11
社長	田尻雅之氏
電話番号	092・626・8581
売上高	8500万円(2007年12月期)
設立	2006年2月
従業員数	12人(アルバイト除く)
事業内容	犬、猫用ペットフードの製造販売

「ほとんどの農家自身が犬を飼っていて『家族同然だから』と理解してもらえた」(田尻社長)。

☆ ☆ ☆

主な販路は動物病院が約三百五十カ所、ペットショップが約二百カ所。創業二ヶ月だった二〇〇七年十二月期は売上高八千五百万円から資金を得て同社を子会社化。来春には新工場建設を予定している。今年

した運送業の西久大運輸倉庫(福岡市、弥永忠社長)が、中小企業支援のドーガが出品には廃棄・回収命令が出される内容だ。田尻社長は「安全意識の高まりを追い風に、ペットフードの新しいスタンダードを作りたい」と話している。

(石森ゆう太)

度は売上高二億五千万円、最終損益トントンを見込む。

工場の一角には、個人客の名札がついたボウルが並ぶ。「ハウスゲストなどが原因で、ペットにもアレルギーが広がっている」(青木誠一商品部長)。コメが食べられない猫には大豆で代替するなど、個別注文も約二千件請け負っている。

米国で昨春、中国産原料を含んだペットフードによる中毒死が続出したことを受け、日本でも来年六月に「ペットフード安全法」が施行される。製造方法の基準を規定し、有害物質を含む商品には廃棄・回収命令が出される内容だ。田尻社長は「安全意識の高まりを追い風に、ペットフードの新しいスタンダードを作り